

2025 年度多文化共修 学生交流プログラム@マレーシア DOJO

Sponsored by SMBC グループ 学生募集要項

1. 趣旨・目的

本学では、「GASSHUKU（合宿）と DOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成」をテーマに、国際共修による様々なプログラムを実施しています。

この度、その一環として、本学と、本学の CiC パートナー大学であるマレーシア工科大学並びに本学と包括連携協定を締結している三井住友ファイナンシャルグループ（SMBC グループ）が協働し、本学の学生が、海外の学生達と共に現地調査や分析を行い、社会課題の解決策を導き出す一連のプロセスを経験させるプログラムを行います。

2. 募集対象

本学の正規課程に在籍する**学群生（標準対象年次 2・3 年）**で、多文化共修に興味があり、海外での水資源・水環境問題や関連する地球規模課題の解決に意欲がある者。外国人学生や水に関わるステークホルダーとコミュニケーションをとることに興味と意欲のある者。なお、プログラムの全日程に参加できることが応募条件となります。

* 生命環境学群地球学類の学生は、原則、「水文科学野外実験（EE22353）」の履修希望者（2 年次・3 年次、「水文科学」履修していること）となります。

なお、地球学類の上記以外の学生でも履修を希望する者は、「12. 留意事項」をご確認ください。

* 参加者は、「12.留意事項」に記載の科目として履修することになります。

3. 募集人数

15 名程度

4. 実施方法

筑波大学及びマレーシア工科大学（UTM）から参加する学生で、1 グループ 4 名（両大学から 2 名）程度のグループを構成し、事前のオンライン学修及び対面によるディスカッション、現地調査等を踏まえて課題解決の成果発表会を実施します。

テーマ（課題）：マレーシアにおける水環境問題

河川・貯水池・地下水について現地調査を行うとともに、現地での様々なステークホルダーからの情報収集や、マレーシアで社会問題の一つになっている水質の問題について、現地で実際に行われている取り組みに参加することを通して現状を理解し、更なる改善策を提案する。

フィールド調査技術や基礎知識については、事前に学修できるようオンデマンドコンテンツを用意し自修してもらうようにします。また現地においては担当教員および T A がサポートします。

5. 実施日程・内容等

① オリエンテーション：オンラインミーティング

日 時：2026 年 1 月 9 日（金）

* 詳しい時間は参加決定者に通知します。

内 容：本学の参加者を対象に、プログラム内容、参加までに学修しておくことの説明、など。30 分～40 分程度を予定しています。

② 事前学修：オンラインミーティング

日 時：2026 年 1 月 23 日（金）

* 詳しい時間は参加決定者に通知します。

内 容：本学及び UTM の参加学生を対象に、プログラム趣旨及び内容等説明、事前学修の内容、SMBC 関係者挨拶、チーム割振りの発表等、1 時間程度を予定しています。

③ プログラム日程

期 間：2025 年 2 月 8 日（日）～15 日（日）

* 以下の内容は大きな日程であり、今後若干変更になる場合があります。
確定版は、1 月 9 日のオリエンテーションの際に配布します。なお、全体の日程（期間）に変更はありません。

日 付	日 程	宿泊地
2 月 8 日（日）	移動（日本→クアラルンプール（KL））	KL 泊
2 月 9 日（月）	在マレーシア日本大使館訪問：マレーシアの政治的、文化的背景のレクチャー SMBC マレーシア訪問：マレーシアにおける日系企業の貢献等に関するレクチャー クラン川流域（首都 KL を含む）の源流から中流に至る水環境観測実習	KL 泊
2 月 10 日（火）	ランガット川（政治的中心都市プトラジャヤを含む）流域の源流から下流に至る水環境観測実習	KL 泊
2 月 11 日（水）	移動（KL→ジョホールバル（JB）） マレーシアの現地企業訪問	JB 泊
2 月 12 日（木）	JB 地域の河川流域において水環境観測実習：現地住民コミュニティとの対話セッション	JB 泊
2 月 13 日（金）	報告会準備 報告会	JB 泊

2月14日（土）	移動（JB→KL） 自由時間 夜、現地発	機中泊
2月15日（日）	日本着	—

6. 応募方法

下記 URL にアクセスし、Microsoft forms に必要事項を記入するとともに、下記応募書類をアップロードしてください。

<https://forms.office.com/r/CFkH4b3yci>

7. 応募書類

- ① 肖像の使用に係る承諾書兼個人情報の取扱いに関する同意書（別紙1）
- ② パスポートの写し（顔写真があるページ）
- ③ 語学（英語）能力証明書（TOEIC/ TOEFL/IELTS 等）

※様式は応募サイトからダウンロードしてください。

※①から④を必ず1つの PDF ファイルにまとめてアップロードしてください。写真（画像データ）等での受付はできません。

※パスポート未取得の学生については、2025 年 12 月 19 日（金）までに確実に取得できるよう各自で責任を持って手続きを確認し、速やかに写しを提出するようにしてください。

※本プログラムは、SMBC グループと包括連携協定に基づき実施するため、応募書類に記載の内容は本プログラムに必要な範囲内で同社に共有することになりますので、ご了承ください。

8. 応募締切

2025 年 12 月 5 日（金）正午

※応募者多数の場合、上記期限前に応募を締め切ることもあるので、興味がある方は早めに応募してください。

9. 選考基準

応募者多数の場合、応募書類記載内容、語学能力等から総合的に判断し、選考を行います。

10. 選考結果通知

2025 年 12 月 15 日（月）までにメールにてお知らせします。

11. 参加費用

60,000 円程度（往復航空券、マレーシア国内交通費、宿泊費、交流会費等を含む。）
このほか、日本国内移動、食費、海外保険等は自己負担。

1 2. 留意事項

（１）本プログラム参加者は、以下の科目で履修登録されます。

地球学類 ：「水文科学野外実験（EE22353）」

その他の学群生：「多文化共修による課題解決実習海外 B（8331183）」

* TWINS への履修登録は、個人で登録する必要はありません。大学で一括して登録します。

なお、地球学類の学生で「水文科学野外実験（EE22353）」を履修済の者、または当該科目の履修を必要としない者は、「その他の学群生」と同様の取り扱いになりますので、その旨応募時に記載してください。

（２）航空券や宿泊先等の手配

一括して大学で行います。詳細は参加決定者に改めてご案内します。

企 画：多文化共修推進・企画会議

協 賛：三井住友フィナンシャルグループ

担当教員：辻村真貴（生命環境系）

問い合わせ先：教育推進課国際共修担当／ソーシャルインパクト推進室

social.impact@un.tsukuba.ac.jp